

平成26年度

# 磐田市立図書館評価



平成27年7月

磐田市立図書館

1 平成 26 年度磐田市立図書館評価書.....P1

2 評価主要指標.....P13

1 平成 26 年度磐田市立図書館評価書.....P1

2 評価主要指標.....P13

## 【方針1】 暮らしとまちづくりに役立つ図書館をめざします

生涯にわたり学習を続けるための生涯学習機関として、市民に役立つ図書館を目指します。

### (1) 適正かつ効率的な運営

平成20年6月の図書館法の大幅な改正により、運営の状況に関する評価や情報の提供等が条文化された。これに伴い、図書館運営がさらに適正かつ効率的になるよう目指していきます。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	「図書館の自由に関する宣言」等の図書館奉仕の基本理念を市民に広く知られるようにします。	C	「図書館の自由に関する宣言」はしていない。早急に宣言をして、図書館ホームページ等に掲示する。	—	
2	磐田市立図書館の中期計画書(施設計画、組織・運営計画)を作成します。	B	中期計画書に代わるものはあるが、今後は中期計画書として作成していく。	B	中期計画書は必要であり、実際にはそれらに代わるもの等を作成したり検討していることか、取組みは発展途上(中)と判断する。5年間の基本方針、運営方針、重点事業は作成されているが、長期的な視野にたった計画も必要ではないかと考える。
3	現状を反映した規則・規程類に見直します。	B	随時、担当者会で現状にあったものに見直しをしていく。	—	
4	実態に即した事務分掌事項に見直します。	B	H26年度に事務分掌を統一したが、随時実態にあったものに見直しをしていく。	—	
5	妥当性がある選定基準・資料更新・廃棄基準に見直します。	B	基準はあるが、各館の状況により運用にばらつきがあるので見直しをしていく。	B	基準はあるが、市民にもわかるような基準を示していくことが必要。各館で基準の運用にばらつきがある点はそれぞれの館の自主性もあってよいのではと思う。

#### <自己評価>

- ・ 早期に図書館奉仕の基本理念を市民に広く周知できるよう検討する。
- ・ 図書館職員全員の役職や適性をしっかり把握した上での分掌が必要。
- ・ 見直しは必要の都度変更している。

#### <外部評価>

- ・ 他の計画との整合性に留意する必要がある。
- ・ 中期計画書にかわるものが作成されたことは、たいへんよかったです。学校関係の立場からすると、各校の図書館担当者の意見・要望などを運営計画に取り入れて頂く方向性があってもよいかと思います。
- ・ 地域や時代で求められる物は違って来ようと思うが、磐田市の将来をみすえて考えてほしい。
- ・ 選定・更新・廃棄の基準は定期的にその妥当性を見直していくべきものと考えます。継続的な取組みを期待します。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
	実績	計画	実績	
1 予算の配分比率の作成	未作成	作成予定	未作成	予算配分比率表を作成し、各項目のバランスを図り、経費の節減を目指す。
指標の説明	図書館費、人件費、資料費、システム維持費、事業費比較 ・経費の節減に努めているか ・各項目のバランスはとれているか ・独自の収入源はあるか ・業務の継続・発展に必要な人件費は十分か			
2 資料費の中期計画の策定	164円	164円	178円	同規模自治体の資料費を把握し、資料費の中期計画を策定するとともに、外部からの資金確保を検討する。
指標の説明	年間資料費/当該自治体人口 ・対出版点数力パー率 ・同規模自治体資料費ランクの位置把握 ・外部からの資金確保			

## (2) 安心して利用できる図書館

乳幼児から高齢者まで利用する図書館。常に、安心して利用できる図書館を目指します。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	施設の安全管理を徹底します。	A	各図書館の天井耐震工事やブックキーパー設置を順次を実施。また、防災訓練も毎年1回実施。	—	
2	最新の危機対応ができる危機管理マニュアルを整備します。	B	危機管理マニュアルはあるが、更新が必要なことと、知らない職員が多いので周知徹底を図っていく。	—	

### <自己評価>

- ・不具合について放置することなく、すみやかに修理の対応をとっている。
- ・危機管理マニュアル(H22年度版)の更新が必要。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
	実績	計画	実績	
1 安全対策	天井耐震工事(竜洋)防災訓練年1回	天井耐震工事(豊田)防災訓練年1回	天井耐震工事(豊田)防災訓練年1回	書架の転倒防止対策や防災訓練を定期的に行い、安全性の向上を目指す。
指標の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性と快適性が確保されているか</li> <li>・防災計画の有無</li> </ul>			
2 図書館の適正環境の維持	5館延床面積 8769.9㎡ 市民1人あたり 0.05㎡	5館延床面積 8769.9㎡ 市民1人あたり 0.05㎡	5館延床面積 8769.9㎡ 市民1人あたり 0.05㎡	同規模自治体の床面積を把握し、適正環境の維持を目指す。
指標の説明	図書館占有延べ床面積 人口1人当面積=床面積/自治体人口			

### (3) 図書館員としてふさわしい人材の配置

さまざまな来館者の要望に対応できる職員を育成・配置していきます。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	図書館サービスの質を向上するため、専門職員を採用します。	B	嘱託職員は司書資格者であるが、正規職員は資格保有率が低いため、サービス向上には有資格者の構成率を高める必要がある。	—	
2	職員の能力を最大限に発揮できるような職場環境を目指します。	B	施設設備、教育環境(研修等)は整っているが、正規職員以外の処遇環境は改善が必要である。	—	

#### <自己評価>

- ・ 司書有資格者を嘱託職員として試験を実施して採用している。長期雇用が困難な点に問題がある。
- ・ 嘱託を含め、研修の場が与えられている。

評価指標		平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
		実績	計画	実績	
1	人員体制	49人+繁忙期 臨時職員	47人+繁忙期 臨時職員	48人+繁忙期 臨時職員	現在の体制を維持し、更なる図書館サービスの向上を目指す。
指標の 説明	図書館総職員数 ・(常勤・専門)職員の比率は適切か ・(繁忙時・休日開館・夜間開館)などの体制は十分か				
2	研修制度	研修8回13人 図書館大会 40人	研修10回30 人図書館大 会40人	研修16回29 人図書館大 会37人	正規・嘱託職員に積極的な参加を促し、対前年比増を目指す。
指標の 説明	公式研修の開催回数、時間数、公式研修への参加人数 ・研修制度は明文化されているか ・職員のかかわり方				

#### (4) 図書資料の収集、整理、保存

暮らしに役立つ資料・情報等を収集し、魅力ある蔵書を備えて、図書資料の充実を図ります。

評価項目	自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1 各分野の新しい図書資料を購入します。	B	市民のニーズに応えることや、蔵書構成やリクエスト状況を考慮し、偏りが無いよう購入している。	—	
2 資料を適正に管理し、保存に努めます。	B	本の破損・延滞など、利用者への啓発不足のため、適正に管理されていない部分がある。	—	
3 電子書籍・デジタル資料等の提供を検討します。	A	県との共同研究を進め、地域資料の電子化の方向性、資料の蓄積に努めた。	A	郷土資料を中心に電子化によく努めている。今後、出版社等の電子書籍の取り扱いについての検討が必要になると考える。

##### <自己評価>

- ・時代の変化に対応できるよう、様々な分野の資料を購入している。
- ・実務責任担当者会による資料の選定、基準化の検討。
- ・H26年度に郷土資料を中心に電子化し、H27年度提供に向けて準備中である。

##### <外部評価>

- ・次代に向けて、デジタル化は必須だと思う。市民が生活や仕事等でうまく利用できたら良い。
- ・電子化が着実にすすんでいることは、とてもよいことだと思います。学校教育にも活用できる資料がすこしでもあることを期待しています。
- ・郷土資料の電子化を始めたことはよいと思う。電子書籍については、今後ニーズが増えると思われるが、どの程度備えるか方針を持っておく必要がある。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
	実績	計画	実績	
1 購入資料数	19,029点	19,500点	19,954点	選書会議で、資料収集方針に基づき、効率的な選書を行って、各分野の資料を整備する。
指標の説明	図書・CD・DVD等の購入点数			
2 市民一人当たりの貸出数	7.9	7.9	7.7	市民の図書館利用を進め、前年度と比較して貸出数増を目指す。
指標の説明	年間貸出点数／人口			
3 資料の発注	11日間(土曜日発注・装備のうえ翌週火曜日納品)	11日間(土曜日発注・装備のうえ翌週火曜日納品)	11日間(土曜日発注・装備のうえ翌週火曜日納品)	資料の発注が、迅速かつ適切な方法等で行われるようマニュアル化を目指す。
指標の説明	発注から納品までの日数 ・適切な業者選定が行われているか ・適切な価格で購入しているか(差別価格など) ・入荷速度(発注から納品まで)は適正か			

## 【方針2】子どもたちに読書の楽しさを伝えます

子どもたちの活字、読書離れが進行している中、子どもたちには読書の楽しみと読書の習慣を広め、想像力や創造力を育みます。

### (1) 学校・関係機関等との連携

利用者の要望に応えるため、学校をはじめ関係機関との連携を図っていきます。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	利用者のニーズに応え、相互貸借等の円滑化を図り、県立図書館との連携を強化します。	A	相互貸借や県立図書館の協力貸出しの利用、県職員との情報交換を行っている。	—	
2	乳幼児や児童のための良質な資料の計画的な収集に努めます。	A	児童担当者の自己研修等により、良質な資料の充実が図られている。	—	
3	幼稚園、保育所、保健センター等との連携を強化します。	A	幼稚園・保育園への団体貸し出し、連絡会の開催、ブックスタートの開催等により連携を深めている。	—	
4	小・中学校や産業大学等の学校図書館との連携を強化します。	A	小学生へのガイダンス、小・中の職場体験、学校への団体貸出等に積極的に取り組んでいる。	A	小中学校への団体貸出点数は多く評価できる。また職場体験の受入れもよい取組みである。本が好きな子は興味、関心も高いので喜んでいる。

#### <自己評価>

- ・子どもの読書推進計画に沿って、よい資料の収集を実施している。
- ・図書館ガイダンス、おはなし会、ブックスタート等の連携。
- ・小中学校へ団体貸出や授業における図書支援、中学生の職場体験を受け入れている。

#### <外部評価>

- ・小中学校、静岡産業大学との連携はされていると思う。学校でのインターネットによる予約と配本もひとつの方法として検討できるのか。豊岡での移動図書館は評価できる。
- ・小中学生の職場体験は見ていてもほほえましく、本好きな子にとってよい体験であり、そうでない子にとっても本にふれるよいチャンスとなる。産業大学の図書館が一般市民にも開かれていることは知られていないのではないか。
- ・高校への対応が記されていない。学習室等は高校生が多いと思われる。高校との連携も図る必要があると思う。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由	
	実績	計画	実績		
1	「子ども読書活動推進計画」の推進	1回	1回	1回	学校などの関係機関との連絡会を開催する。
指標の説明	子どもの読書環境の整備を推進しているか				
2	乳幼児への読書案内、ブックスタートの実施	57回 1,222人配布	57回 1,200人配布	57回 1,149人配布	
指標の説明	他の部署とも連携しながら、適切に行われているか ・実施回数、満足度				



評価指標		平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
		実績	計画	実績	
3	小・中学校等の学校図書館との連携	1回	1回	1回	小中学校との連絡会を開催する。
指標の説明	企画・立案を積極的に提案し、協議しているか ・学校、学校司書、図書室担当者、巡回読書指導員等との連携、相談、研修など				
4	読書案内の作成	0歳～小学校高学年向きまで5種類	0歳～小学校高学年向きまで5種類	0歳～小学校高学年向きまで5種類	
指標の説明	読書意欲の増進に努めているか ・作成、配布部数、テーマ別ブックリスト作成件数				
5	団体貸出数	71,317点	67,400点	54,702点	学校、公民館、その他団体への貸出数。
指標の説明	専用資料の有無、利用方法、PRは適切か、搬送方法は十分か				

### 【方針3】 資料・情報とそれを求める市民を結びます

多様な資料と情報を収集提供し、現代社会の様々な問題解決の活動を支援します。

#### (1) ホームページ等からの情報発信

情報社会に対応するため、ホームページ等から情報を発信していきます。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	図書館の概要(冊子)・図書館だよりを発行します。	A	図書館の概要(冊子)・図書館だよりの他に、園児、小学生、中学生向けの冊子を提供している。	—	
2	ホームページを充実するとともに、最新情報に更新していきます。	B	最新のイベント情報や新刊情報を掲載し、更新もしているが、もう一工夫魅力あるものにしていく。	—	
3	地域メディアを活用します。	B	情報発信の場として、広報・ホットラインこども向け情報・報道機関などを活用している。	B	情報を発信していくことは今後も期待する。ホットラインで受信した記憶はないが、受信が何からされても把握していきたい。催物のお知らせはありがたい。(広報+図書館だよりなど)

#### <自己評価>

- ・ 概要は毎年、図書館だよりは毎月必要な情報、データを掲載して情報発信している。
- ・ 情報は新しいが、利用者が興味を持ちやすいレイアウトなど工夫の余地がある。
- ・ 広報いわた・いわたホットライン・報道機関等を活用して情報発信に努めている。

#### <外部評価>

- ・ 広報いわた、新聞報道を柱にして、市民に情報提供を積極的に行うことが引き続き重要である。
- ・ 資料、情報を求める市民に図書館の存在を知らせる手段を創り出すという工夫。初歩的で一番難しい課題です。足で広める、口伝で広めることも…。各地域行事に参加するとか。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由	
	実績	計画	実績		
1	情報端末(OPAC、インターネット端末)の整備をします。	インターネット用パソコン5館10台	12台 中央図書館(国会図書館送信サービス、静岡新聞・第一法規データベース)	12台 中央図書館(国会図書館送信サービス、静岡新聞・第一法規データベース)	将来を見据えた、インターネット端末や電子書籍環境の整備を目指します。
指標の説明	情報端末の整備は十分か				
2	情報検索サービス	館内OPAC5館計15台	館内OPAC5館計15台	館内OPAC5館計15台	
指標の説明	利用者OPACの数・配置場所は適切か、データベースの内容・公開は十分か				

## (2) レファレンスサービスの充実

レファレンスサービスを充実させるため、職員資質の向上を図ります。

評価項目	自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1 レファレンス能力をはじめとした職員資質の向上を図り、レファレンスサービスを充実します。	B	県立図書館の研修のほか、インターネットの活用やデータベースの活用により資質の向上を図っている。	—	
2 図書館サービスの充実を図るため、レファレンス・マニュアルの作成をします。	C	共通の対応ができるマニュアルを早期に作成する。	—	

### <自己評価>

- ・レファレンス研修への参加や実例の共有化により、資質の向上を図っている。
- ・利用者の多種多様な疑問に答えられるよう、職員同士で情報を共有している。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
	実績	計画	実績	
1 レファレンス受付件数	6,075件	6,200件	7,882件	
指標の説明	図書館窓口・電話・メールにより、必要な資料について問い合わせを受けた件数			
2 レファレンス・マニュアルの作成	未作成	作成検討	作成検討中	
指標の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に即して作成されているか</li> <li>・マニュアルに沿って実施されているか</li> <li>・バージョンアップなどのメンテナンスを行っているか</li> <li>・情報共有のためのミーティングを行っているか</li> </ul>			
3 リクエストへの対応率	97.2%	97.0%	97.4%	リクエストへの対応率を把握し、希望図書比率の適正化を目指す。
指標の説明	対応率=購入件数/希望受付件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望図書比率</li> <li>・図書館員の係わり方</li> </ul>			
4 図書館相互貸借による提供	県内借受 1,083 県外借受48 国会借受9	県内借受 1,100 県外借受50 国会借受10	県内借受 1,112 県外借受42 国会借受1	他の図書館と協力して、市民に様々な資料提供することをPRし、幅広い資料の提供を図り、対前年度比増を目指す。
指標の説明	磐田市立図書館にない資料を、県立図書館・県内図書館・国立国会図書館等から借用して市民に提供した冊数と、他市図書館等を通じて磐田市立図書館の資料が活用された冊数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の周知は十分か</li> <li>・提供までの期間は適切か</li> <li>・連絡体制は十分か</li> </ul>			

## 【方針4】 図書館サービスを利用できる機会を広げます

地域の中で「憩いの空間」として場の提供をしていきます。また、高齢者、障害をもつ人々、在住外国人などに対して、図書館利用上での情報格差や社会的不平等の解消を促進していきます。

### (1) 利用しやすい図書館サービスの展開

市民にとって利用しやすい図書館サービスの展開や向上を図っていきます。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	市民参加の中・長期的なサービス計画を策定し、職員も積極的に評価に参加をします。	B	職員が参加した図書館評価を実施、今後は市民が参加するサービス計画の策定が必要である。	B	既に現状でも相当程度のサービスが提供されている。今後は、勤務日等、就労の状況が多様化しているなかでの休館日、多文化共生社会を志向する中での図書整備が課題となる。
2	民族的、言語的、文化的に多様な市民ニーズに即した多文化サービスの方針を作成します。	C	多様な市民ニーズに即した方針作成の検討が必要となる。	—	
3	図書館サービス向上のため、利用者満足度調査をします。	A	5月の利用者アンケート、8月の市政モニターのアンケートを実施し、率直な意見を得られた。	A	調査を実施したことを評価。プラス面、マイナス面から分析し、どのように反映していくかが大切であり一歩を踏み出したと思う。

#### <自己評価>

- ・市内在住の外国人の人々が、母国の図書も読める環境づくりが必要とされる。
- ・来館者アンケートを実施し、図書館利用者の意見や感想をサービスに反映します。

#### <外部評価>

- ・長期的サービス計画は現在策定されていないが、今後の課題として取組む必要がある。住民ニーズとサービス提供をどのように図書館として検討していくのかの課題がある。
- ・社会教育の担い手として中心に位置する図書館です。市民参加で市民総員の「憩いの空間」を作りましょう。サービス計画策定段階から市民参加できるようにお願いします。
- ・アンケートを実施したことはよいことだと思います。たくさんの意見を読み取ることはたいへんな作業だと思います。何度も読み返ししながら、利用者のニーズの傾向や特徴などを探ってほしいと思います。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
	実績	計画	実績	
1 来館者数	633,618人	612,600人	599,461人	ここ数年、停滞している来館者数の対前年比増を目指す。
指標の説明	館内での閲覧利用も含め、図書館に来館した利用者の延べ人数			
2 年間有効登録率	44.3%	43.3%	46.3%	年間有効登録率を把握し、同規模自治体の目標値を目指す。
指標の説明	当該自治体居住者の年間有効登録者数/当該自治体の人口			
3 開館日・開館時間	中央図書館 年間293日	中央図書館 年間298日	中央図書館 年間292日	アンケート調査等により、利用しやすい日時を目指します。
指標の説明	開館日・開館時間が利用者要求を満たしているか			

評価指標		平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
		実績	計画	実績	
4	蔵書回転率	1.6%	1.6%	1.5%	蔵書回転率を把握するとともに、アンケート調査等により、魅力ある蔵書構成を目指します。
指標の説明	年間の貸出点数/蔵書点数 ・魅力ある蔵書構成になっているか				
5	開架蔵書更新率	5.0%	5.0%	5.0%	開架蔵書更新率を把握するとともに、蔵書の新鮮度の数値化を目指します。
指標の説明	年間受入冊数/開架冊数 ・蔵書の新鮮度の数値化				
6	人口あたり貸出数	7.9点	7.9点	7.7点	現状は、同規模自治体の平均を上回っているが、市民の図書館利用増を目指す。
指標の説明	年間貸出数/人口 ・図書館利用頻度は相対的に高いか ・貸出限度数、貸出期間の適正化を図る				
7	Web予約受付件数	75,425	76,000	77,797	図書館ホームページの拡充やインターネット登録の促進を図り、前年度比増を目指す。
指標の説明	・利用者の要望に答える蔵書になっているか ・提供のための予算・体制は整っているか				
8	大活字資料の所蔵数、開架率	4,448点 開架率 98%	4,600点 開架率 98%	5,219点 開架率 83%	利用促進のため、所蔵数を把握し、PR等を図る。
指標の説明	利用促進のための排架がしてあるか				
9	障害者サービス 利用者ニーズの把握	ボランティア 打合せ会4 回、障害者団 体会議への 出席	ボランティア 打合せ会4 回、障害者団 体会議への 出席	ボランティア 打合せ会3 回、障害者団 体会議への 出席	アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めることを目指す。
指標の説明	実施のための会議回数 ・担当者の配慮は十分か				
10	(視聴覚障害) 対面朗読サービスの 充実	対面朗読 年25回	対面朗読 年25回	対面朗読 年40回	
指標の説明	・投入費用は適切か ・ボランティアだけに頼っていないか ・受付後の迅速な対応ができる体制を維持しているか				
11	音訳資料、点訳図書・ 拡大写本、さわる絵本 の作成・購入	音訳図書 完成2点・購入18 点 点訳図書 完成5点・購入2点	音訳図書 完成5点・購入20 点 点訳図書 完成5点	音訳図書 完成6点・購入20 点 点訳図書 完成7点	
指標の説明	・購入費・作成費は十分か ・マニュアルの作成により、図書館の方針が明記されているか ・質の高い資料の収集・作成に努めているか				
12	(聴覚障害) 手話・筆談・口話による 対話	0件		0件	
指標の説明	受付件数				

## (2) 市民参加と協働による図書館

市民が図書館事業に参加できるよう、ボランティアとの協働による図書館を目指します。

評価項目		自己評価	取組結果 (図書館)	外部評価	外部評価者コメント (図書館協議会)
1	改善・改革・提言など、建設的な内容を協議するため、図書館協議会を開催します。	B	年2回の開催で、多くの意見を頂戴し反映させている。毎年研修のため、「静岡県図書館大会」に参加している。	B	現状の図書館協議会は、情報提供に時間を割かれ建設的な内容の協議までは無理がある。協議会委員はより情報をキャッチし、図書館の経営を日頃から見守ることが肝要である。
2	図書館ボランティアへ情報提供や研修などの支援をしていきます。	B	「読み聞かせボランティア養成講座」など毎年開催し、新たな人材を確保している。	A	情報格差や社会的不平等の解消をめざす図書館としては、ボランティア支援にとどまらず重点課題としたいものです。
3	地域おはなしボランティア等の地域ボランティアとの協働を図ります。	B	おはなし会、おたのしみ会、花壇等への地域ボランティアの協力がある。	—	
4	職場体験・ボランティア活動の受入れを年間計画します。	B	中学生職場体験・高校生インターンシップ・教員指定年研修等を受け入れているが、年間計画はない。	—	

### <自己評価>

- ・協議会は開催しているが、協議材料となる情報提供が充分とはいえない。
- ・視覚障害者に対する音訳・点訳ボランティアの研修会の実施。
- ・「読み聞かせボランティア」の方々を中心にイベントの運営など協働を図っている。

### <外部評価>

- ・現状の図書館協議会は、図書館側からの情報提供に時間を割かれ、建設的な内容の協議までは無理がある。
- ・協議会の出席率も高く、意見交換・提言もされている。静岡県図書館大会にも大勢出席している。
- ・現在の図書館協議会の開催では十分な協議はできかねる。図書館ボランティアとの研修会等の開催により、意見や情報の収集を図ったらと考える。
- ・ボランティア等との支援は一定されていると思う。今後どのような支援、研修が必要なのかは、代表者との懇談等を深めていけばと思う。

評価指標	平成25年度	平成26年度	平成26年度	達成目標設定理由
	実績	計画	実績	
1 図書館行事活動	参加者 9,084人	参加者 8,900人	参加者 8,803人	既存の行事等をより魅力ある内容にし、PRIに努め、対前年度比増を目指す。
指標の 説明	実施回数、参加者数、参加者満足度 ・利用者の視点で企画されているか ・利用促進効果が得られているか ・実施効果が得られているか			
2 職場体験、生徒・学生等ボランティアの受け入れ	17回 46人	18回 50人	14回 45人	ボランティアとして活動する「(仮称)図書館サポーター」制度を検討する。
指標の 説明	年間で受入計画を策定しているか			
3 宅配サービスの検討	視覚障害者への宅配のみ実施	視覚障害者への宅配のみ実施	視覚障害者への宅配のみ実施	図書館への来館が困難な市民に対して、図書館資料を届けるサービスを検討する。
指標の 説明	・ボランティアとの協働を進めているか ・利用者のプライバシーが配慮されているか			

## その他

### ＜外部評価＞

- ・ 図書館に期待するところはとても大きいので、財政が厳しい中、アイデアで攻めてほしい。
- ・ いつも変わらずそこに図書館があることが大切ですからいつもを保つことを心がけてほしい。
- ・ 5館一斉休館はかわらないのでしょうか？交代だといふと思う。
- ・ 20:00までの開館日があっても良い。
  
- ・ 数多くの良質のサービスを提供している。
- ・ 今後、中高年層の方々による利用が増大することが予想されるので、図書館が行っているサービスを広報誌等により周知することがより重要になると思われる。
- ・ 宅配など高齢社会への対応のあり方は、難しい課題であるが検討に値する。
- ・ 小・中・高校生に、市立図書館を活用する機会を関係校と連携しながら増やしていくことが、将来的な利用者拡大につながるのではないかと。
  
- ・ 公共の場所への、本の貸出しサービスをより多くしていくと、本を手にとって見る人が多くなると思う。足がなくて図書館へ行くことができない人も、近くに本があると、手にとって見たいと思うでしょう。
  
- ・ 図書館の概要に、図書館ボランティアの名称や活動状況を紹介する項があるとよい。
- ・ フロアに図書館の人（職員・ボランティア）がいて、気軽に相談にのったり、本や資料を探したりするサービスがあると慣れない人は安心できるのではないかと。
- ・ より多くの市民が図書館を活用できるよう、読書週間などに合わせて登録の呼びかけなどをするのもよいと思う。
- ・ 市民一人あたりの貸出数を上げ、心豊かな市民の育成・醸成を図りたい。

## まとめ

図書館法の規定に基づき磐田市立図書館の評価を実施しました。

評価は、磐田市立図書館の基本方針・運営方針に沿った事業展開やサービスがなされているかを、利用者アンケートや市政モニターアンケートの結果を踏まえ、職員による自己評価と図書館協議会委員の方々による外部評価により行いました。

利用者アンケートや市政モニターアンケートの結果では、利用者サービスの面においては高い評価を得ている反面、資料の充実や行事に関する部分の評価が相対的に低いという傾向がみられます。このことは、資料の不足部分を、職員の努力によって補っていることがわかります。

内部評価においては、Cと評価した項目が3か所ありました。まだ十分な取組みがなされていない部分なので、今後すみやかに対応していくことが必要な部分です。

外部評価については、A評価が4か所、B評価が5か所で、C評価はありませんでした。

磐田市の図書館はこれまで先進的な取組みを積極的に行ってきました。また、利用者の方々からの建設的なご意見はできるだけ反映するよう努力してきました。今回の図書館評価において、好評価を得たことに安住することなく、今後も運営に努力してまいります。

## 評価主要指標

			実績 H25年度	実績 H26年度	中期目標 H27年度	中期目標 数値説明	算出根拠
イン プ ット 指 標	1	人口(人)	170,754	170,548	171,000	現状	
	2	図書館数(館)	5	5	5	現状維持	
	3	占有床面積(m <sup>2</sup> )	8,769.9	8,769.9	8,769.9	現状維持	
	4	専任職員数(人)	41	40	40	現状維持	
	5	専任+非常勤・臨時+委託・派遣(人)	49	48	49	現状維持	
	6	蔵書数(点)	852,453	865,672	873,500	毎年0.9%増加	
	7	開架資料数(点)	496,100	497,700	498,000	現状維持	
	8	図書館費(千円、人件費・工事 請負費を除く)	123,771	123,006	124,000	現状維持	臨時賃金は含む
	9	資料費(千円)	28,093	30,384	31,772	増額	図書備品+雑誌・新聞代
	10	年間受入点数(点)	24,958	24,815	25,500	増加	寄贈含む
	11	人口当資料費(円)	164	178	216	県平均並	資料費/当該自治体人口
中 間 的 指 標	12	開館日数(日)	293	292	298	現状維持	中央図書館の開館日数
	13	有効登録者数(人)	75,603	78,980	82,500	毎年4.5%増加	登録累計－除籍者数
	14	有効登録者登録率(%)	44.3	46.3	48.2		有効登録者数/人口
	15	専任司書率(%)	65.9	72.5	72.5	29/40	専任司書/専任職員
	16	雑誌受入種数(誌)	227	234	245	毎年10誌増	
	17	新聞種数	12	12	12	現状維持	
	18	蔵書更新率(%)	1.3	1.6	1.0		(年間受入点数-年間除籍 数)/前年度末蔵書数
	19	開架資料更新率(%)	5.0	5.0	5.1		年間受入数/開架資料数
	20	利用者端末数	25.0	27.0	27.0	上位1/4	OPAC、インターネット
ア ウ ト プ ット 指 標	21	来館者数	633,618	599,461	676,000	H23実績水準	H25竜洋図書館耐震工事 H26豊田図書館耐震工事
	22	予約件数	116,060	113,678	116,500	H23実績水準	同上
	23	年間貸出点数	1,340,431	1,306,374	1,469,000	H23実績水準	同上
	24	人口当貸出点数	7.9	7.7	8.6		年間貸出点数/人口
	25	蔵書回転率	1.6	1.5	1.7		年間貸出点数/蔵書数
	26	団体貸出点数	71,317	54,702	67,400	現状維持	H25竜洋図書館耐震工事 H26豊田図書館耐震工事
	27	レファレンス・読書案内受付件 数	6,075	7,882	8,000	現状維持	H25竜洋図書館耐震工事 H26豊田図書館耐震工事
	28	集会行事参加人数	9,084	8,803	8,900	現状維持	5館の主な事業(展示除く) H25竜洋図書館耐震工事 H26豊田図書館耐震工事
	29	ホームページアクセス件数	134,530	143,264	144,000	現状維持	H25竜洋図書館耐震工事 H26豊田図書館耐震工事
ア ウ ト カ ム 指 標	30	項目別及び全体の図書館利 用者満足度	—	75%	80%	来館者アンケ ート問3-⑥	
	31	職員の職場満足度	—	92%	95%	評価 方針1-(3)-2	

- ※ ・ インput指標(投資された資源及びその蓄積)
- ・ アウトput指標(資源とその活用により生まれた成果)
  - ・ アウトカム指標(サービスおよび成果への利用者の評価)